

南アルプスハーモニーフォーラム in2017を開催しました



2月4日(土)あやめホールにおいて、「南アルプスハーモニーフォーラム in2017」を開催しました。

男女共同参画啓発作品の表彰式、南アルプスハーモニープラン推進会議と南アルプス市女性団体連絡協議会の活動報告を行いました。講演会ではイクメン芸人としても活動されている山梨住みます芸人いしいそうたろうさんから「イク

メン・カジダンのススメ」と題してお話をいただきました。最後は相方のぴっかり高木さんも合流し、お2人の掛け合いに会場からは笑い声が挙がりました。

男女共同参画を難しく捉えず、自分なりにできることから始めていきたいと感じられたフォーラムとなりました。

わがまちの輝いている男と女

女性消防団員
井上 清美さん、三井 都奈美さん

今諏訪地区では以前より女性消防団員が活動しており、引き継ぐかたちで団員になりました。活動は男性消防団員とほぼ同じことを行っています。男性団員が理解してくれているので、女性であるからといって困ることは特にありませんでした。私たちは今年度で退団しますが、今後も住民の一人として地域の消防活動に協力していきたいと思えます。



男性保健師 田邊 快さん

私は、病気の予防を支援したいという思いから保健師になりました。現在は、成人健診の運営や健診結果説明、乳幼児の保健相談を行っています。職業柄女性の多いところですが、関係性を築けるように伝え方などコミュニケーションに気をつけています。反対に、男性の立場を活かして、理論的視点を持ち業務や事業の改善を図っていく役割もあるのではと公務に励んでいるところです。このように、性別の違いを感じることはありますが、それ以上にやりがいのある仕事だと感じています。今後も精進しながら、地域の皆様と一緒に健康づくりを進めていきたいです。



ひと ひと 男と女のハーモニー

Harmony

南アルプスハーモニープラン推進だより

2017
Vol.18

南アルプス市

イクメン投票

市広報に掲載されたイクメン写真。ハーモニーフォーラムで投票を行いました。

グランプリ

平野さん (上高砂)

第2位

深澤さん (桃園)



第3位

穂坂さん (上市之瀬)



川柳・標語の優秀作品

男女共同参画に関する川柳・標語を募集し、1754点の応募をいただきました。

入賞作品

家事分たん 子育て分たん
父と母
(大明小4年 井上朱莉さん)

認めあい 男女が輝く
まちづくり
(白根巨摩中2年 名取知花さん)

アルプスの 街に男女の
希望あり
(桃園常磐晴美さん)

入選作品

差別ない すてきな未来 作りた (白根東小5年 下川有愛さん)

誰の手も つなげば感じる あたたかさ (若草中1年 三枝叶美さん)

「俺がやる」その一言で 母笑顔 (巨摩高校3年 村越未来さん)

いつだって 男女そろって 明るい社会 (小笠原小6年 イエム・トリスタンアレクサンダー健さん)

決めつけず 自分らしくが 理想の未来 (巨摩高校3年 名取 詩穂さん)

おたがいを 認めてさしだす 男女の手 (八田小6年 小澤優羽さん)

性別の 垣根を超えて 協力を (白根高校1年 中島光太さん)

お互いの いいところ見つけ 支え合う (白根百田小6年 篠原美羽さん)

魅力的 パパも育休 とれる職場 (若草中3年 榎本彩七さん)

つなげよう 君にさしだす 支えの手 (下宮地 石川美加さん)

ハーモニープラン推進会議
職場部会活動報告

「性別にとらわれず一人ひとりが働きやすい職場」をめざして取り組んでいます。

【企業への啓発活動】

市の企業ガイダンスで企業担当者へ向けて啓発活動を行いました。昨年度行ったアンケートでは、育児・介護休業制度はほとんどの企業で整備されていることが分かりました。そこで今年度は、「休業制度を利用しやすい雰囲気づくり」をテーマにチラシを作成し、職場に貼っていただくようにお配りしました。実際に働いている方の目に触れ、職場全体の意識改革に繋がることを願っています。

【4か所の企業を訪問】

お話を聞いた共通キーワード
①お互い様、助け合いの精神。
②経営者や上司の考えが職場の雰囲気に大きく影響する。
③一人ひとりが納得して選択できる環境づくり。
このキーワードを広めるためにチラシを作成しました。性別にかかわらず働きやすい職場は働く人やその家族の幸せに繋がり、その輪が広まって素敵な南アルプス市になるはず。企業や地域での啓発活動につなげていきたいです。

ハーモニープラン推進会議
家庭部会活動報告

性別による固定的な役割分担ではなく、互いに支え合う家庭づくりをめざして取り組んでいます。

【今年度の活動方針】

昨年度に行った子育て世帯へのアンケート結果を元に今年度の活動方針を立てました。①家庭内で協力して家事・育児ができるようにしよう。②地域で協力して子どもを育てていこう。

【地域のみなさんへ呼びかけ】

八田地区文化ふれあいまつり、ちっくいまつり若草に参加して、啓発グッズを配布しました。



【紙芝居を作成！】

子ども向けの紙芝居を作成しました。子どもが家の手伝いを始めたことをきっかけに、家族みんなが互いの大切さや育児・家事を協力して行うことの大切さに気づいていくストーリーです。親子向けの啓発活動に使っていきたいと思います。

ハーモニープラン推進会議
地域社会部会活動報告

性別や世代に関わらず共に地域づくりへ参画し、暮らしやすい地域社会となることをめざして活動を行っています。

【地域での啓発活動】

櫛形地区文化祭と甲西ふるさとまつりに伺い、啓発グッズを配布しました。

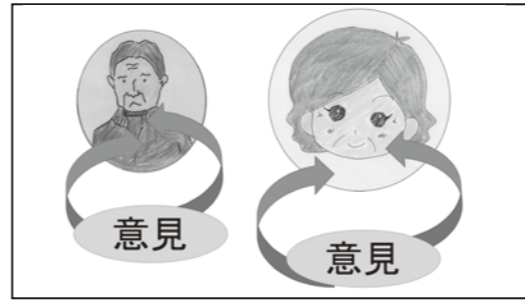


【笛吹市の取組みを勉強！】

笛吹市では、「地域へ女性も男性も」という活動に力を入れていること、また女性の自治会長が継続的にいることを知りました。推進委員の手作りの紙芝居を、地域イベントや民生委員の集まりなどさまざまな場面で上映しているそうです。また、自治会長経験のある女性からは「女性の自分が役員になったことで女性が引け目を感じなくなったみたい。以前より活発に意見が出た。」「性別は関係ない、逆に手を差し伸べてくれる男性もいた。」という話を聞きました。

【地域にもっと女性の声を】

笛吹市の訪問から、女性が自治会長を務めたときのメリットや周りの反応をイメージすることができました。地域に女性の声を通りやすくなれば、いろいろな価値観の中で地域づくりができるのではないかと思います。今回気付いたことを地域で広めていくために、啓発活動に使える物語を制作しました。地域で「女性の役員も良いかも」という意識が広まっていくことを願っています。



▲元・現役女性区長(自治会長)からの経験談をもとに作成した資料「もし…女性の自治会役員ができれば」(一部)

南アルプス市
女性団体連絡協議会活動報告

①各種団体の自主性を尊重し、相互の連携を図り、親睦と交流を行う。
②男女共同参画社会の実現をめざし、女性の資質向上と住みやすいまちづくりを推進しよう。
この基本方針に基づき、各団体が主体的にあるいは市に協力しながら活動を行っています。今年度は「つながる」をテーマに人・団体・地域で輪を広げ、地域づくりやまちづくりを考えてきました。

【研修会の開催】

●一日研修会
国会議事堂と東京ガスミュージアムへ40名で出かけました。国会議事堂では県選出国會議員の宮川典子氏の説明をいただき、女性ならではの視点で国政をより身近に感じることが出来ました。東京ガスミュージアムではガスの歴史に触れ、子どもの頃の家族との思い出がよみがえりました。車中での会員同士の交流もまた「つながり」となりました。



●半日研修会
NPO法人フードバンク山梨の米山理事長から『子どもの貧困』をテーマにお話をいただきました。飽食の時代と言われながら身近な出来事に、現実問題を突き付けられた思いになりました。講演を機に理解者の支援を得られ協力する事が出来たという話を聞き、まさしくここでも人が「つながった」と思います。

【荒川区女性団体の会との交流会】

南アルプス市と交流都市の荒川区から女性団体の会の皆さんが訪れ、意見交換を兼ねた昼食交流会を実施しました。お互いの活動を糸口に課題や会の運営など意見交換を行いました。この交流を機に手紙のやり取りやイベントへの参加と特産品の販売が決まり、ここでも新たな「つながり」をもとに一歩踏み出しました。

【今後へ向けて】

これまでの活動でできた「つながり」を大切に、これからも地域に根ざした活動を行っていききたいと思います。